



新型コロナウイルス感染症以外にも冬の季節に気を付けなければならない感染症があります。

今回は代表的な感染症例として新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス、ノロウイルスの感染症の違いについてご説明します。
それぞれの違いを確認して冬の感染症対策を行いましょう！



各ウイルスの特徴

新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスは、エンベロープと呼ばれる脂質を含む糖蛋白質からなる膜を持つため、アルコールで容易に不活化されます。しかしノロウイルスはエンベロープを持たないため、アルコールでは不活化されにくい特徴があります。

この他にもウイルスによって異なる点は様々であり、表1のようにまとめられます。



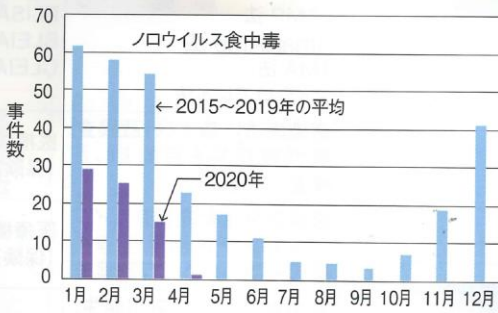
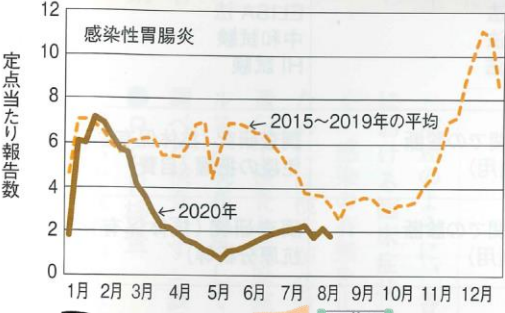
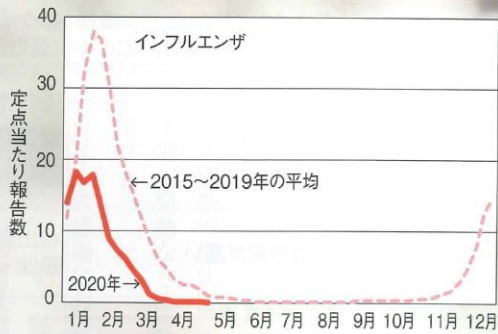
表1 各ウイルスによる感染症のまとめ

感染症の名称	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	インフルエンザ	ノロウイルス感染症
感染法上の分類	指定感染症 (2類感染症相当)	5類定点把握感染症	5類定点把握感染症 (感染症胃腸炎)
食品媒介感染 (食中毒)	無	無	有
感染源	感染者の飛沫 (咳、唾) 呼気及びそれらの汚染物	感染者の飛沫 (咳、唾) 呼気及びそれらの汚染物	感染者の便、嘔吐物 及びそれらの汚染物
感染経路	飛沫感染 エアロゾル感染 接触感染	飛沫感染 接触感染	飛沫感染 接触感染 塵埃感染
潜伏期間	5～6日 (長い場合2週間程度)	1～3日	1～2日
好発年齢	全年齢層 (大人が多い)	全年齢層 (子供が多い)	全年齢層 (子供が多い)
特徴的な症状	発熱咳 (空咳) 味覚・嗅覚障害 不顕性感染 高齢者重篤化	高熱 (38℃以上) 倦怠感 関節痛・筋肉痛	嘔吐・嘔気・下痢 発熱 (主に38℃以下) 不顕性感染
治療法	対処療法 症状に応じて投薬	抗インフルエンザウイルス剤	対処療法
ワクチン	無 (開発中)	有	無 (開発中)

●ノロウイルスは、感染者の便・嘔吐物及びそれらの汚染物を感染源として接触感染が主体です。
●新型コロナウイルス・インフルエンザの主な感染経路は飛沫感染で、接触感染も起こります。

ノロウイルスは、食品媒介感染を起こし、食中毒の主な原因物質となっていますが、新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスによる食品媒介感染の報告はありません。

表2 新型コロナウイルス・インフルエンザ感染症胃腸炎の流行とノロウイルス食中毒の月別事件数



●新型コロナウイルスの感染拡大にともない、インフルエンザや感染症胃腸炎は減少傾向で、ノロウイルス食中毒も過去5年間の平均値と比較しても発生は非常に少ない状況。手洗いの励行・マスク着用の徹底が、流行を抑えた可能性にあります。



取り組むべき感染予防方法



感染リスクのある場所や場面を避ける

飛沫感染の予防

こまめに換気し、室内の空気を新鮮に保つ

加湿器などで適切な湿度(50～60%)を保ち、喉や鼻の粘膜を乾燥から保護する

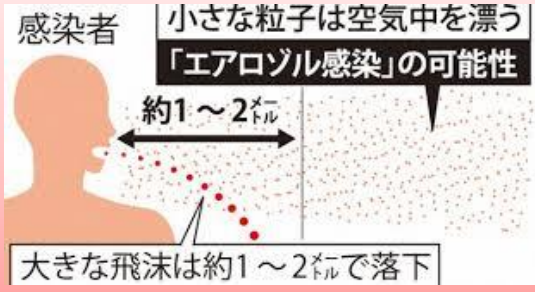


マスクをつけるときは、鼻からあごまでを覆い、隙間がないようにつけましょう。



エアロゾル・塵埃感染の予防

接触感染の予防



- 新型コロナウイルス対策
 - ▶ 接触アプリの利用・抗体検査実施による感染症対策の有効性チェック
- インフルエンザ対策
 - ▶ ワクチンと抗インフルエンザウイルス剤の早期投与
- ノロウイルス対策
 - ▶ 汚物の処理（消毒）と適切な食品の取り扱い



新型コロナウイルスに関する情報はこちら

ニイタカホームページに新型コロナウイルスに関する情報を掲載しております！

